



# MBT NEWS LETTER

第229号  
'23/08/29

## <スマートコミュニティ部会活動報告>

### 8/25、吹田サスティナブル・スマートタウンの施設見学会を実施 MBTコンソーシアム会員10組織から16名が参加 カーボンニュートラル、ウェルビーイング等の先進的まちづくりを学ぶ

- ・MBTニュースレター第226号（8月2日発行）で、定員10名の表題見学会を案内しましたところ、多くの参加希望者があり、急遽受け入れ定員数増を事務局にお願いし、総勢16名で吹田サスティナブル・スマートタウン（SuitaSST）見学会を実施しました。
- ・SuitaSSTは、Panasonicや関西電力(株)他のパートナー企業、住民、自治体、行政、大学とが「共創」する仕組みを導入し、次世代のエネルギー、セキュリティ、モビリティ、ウェルネス、コミュニケーションのソリューションを開発・トライアルして地域価値向上の貢献を目指す多世代居住型健康スマートタウンです。



- ・見学は、まずタウンの共用スペースでPanasonicの担当者からSuitaSST全体の概要やコンセプトの説明を受けて始まりました。
- ・そして、住民生活に騒音で支障を与えないよう、首から吊るしたタブレットの画面映像と案内人の説明音声を無線骨伝導イヤホンで受信して聴く方法で、スマートタウンを巡る見学ツアーが行われました。



- ・タウンで消費する電力は、関西電力(株)から再生可能エネルギー由来の非化石証書を持つCO<sub>2</sub>フリー電気で賄われ、先進的カーボンニュートラルが導入されています。



- ・またウェルビーイングでは、住民のバイタルデータを基にしたPHR（Personal Health Record）を用いた健康管理、IoT活用による認知機能低下の早期発見、「心」「身体」「社会」の3つの視点の9つの”健康まちづくりコード“による空間デザインが推進されています。

- ・タウン内のウェルネス複合施設には、サ高住や認知症高齢者グループホーム、保育所などが入っていて、見学当日には、これら施設の住人の高齢者から小さな園児までが一緒になって盆踊りを楽しんでいる風景も見かけられ、超高齢社会の住まいの在り方を垣間見ました。

- ・見学を終え、共用スペースに戻り、質疑の後に、本日の見学会を企画したスマートコミュニティ部会事務局を代表して関西電力(株)植田洋史部長（MBTコンソーシアム理事）から参加者へのお礼が述べられ（右写真）解散しました。



発行

（一般社団法人）MBTコンソーシアム、（公立大学法人）奈良県立医科大学  
 奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内 担当 塩山  
 TEL：0744-29-8853（直通）、FAX：050-3164-5598、Email：mbt@mbt.or.jp